

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	26-4																																					
PDCA	主要事業名	後退用地事業	部課名	建設部建築課	担当	間瀬																																						
					内線	464																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 20,277 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.06.01.04.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																					
	事業概要等	事業概要： 半田市建築行為等に係る後退用地に関する要綱に基づき、後退用地の適切な管理、用地取得により生活道路の拡幅、整備を行う。																																										
		事業目的： 後退用地の取得をすることで、市民の生活環境の向上に寄与する。																																										
		事業内容： 用地取得の基準を満たす後退用地の届出者に寄付を依頼し、申請により後退用地を取得、整備する。																																										
		問題点・届出は、建築行為があるときに提出されるので道路上では点となってしま 課題等： い、一定の区間が全面拡幅されるのが難しい。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	20,277 千円	道幅の狭い生活道路を拡幅し、緊急車両等の通行を可能にするなど、生活環境の改善を図るため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 10,305 千円	後退用地の取得を進めることで、生活道路の拡幅ができ、緊急車両等の交通が確保できる。																																										
	国費 9,972 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取得対象申請数に対する取得割合</td> <td>実績値</td> <td>34.6</td> <td>34.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	取得対象申請数に対する取得割合	実績値	34.6	34.0	—	%	目標値	50.0	50.0	50.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値		
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
取得対象申請数に対する取得割合	実績値	34.6	34.0	—	%																																							
	目標値	50.0	50.0	50.0	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
その他 0 千円																																												
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																										
	18,474 千円	後退用地を取得することにより、安全な市街地形成に必要な道路幅員を段階的に確保できた。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取得対象申請数に対する取得割合</td> <td>実績値</td> <td>36.2</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>50.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	取得対象申請数に対する取得割合	実績値	36.2	%	目標値	50.0	%																											
	成果指標		令和5年度	単位																																								
	取得対象申請数に対する取得割合	実績値	36.2	%																																								
		目標値	50.0	%																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 後退用地の取得制度を周知し、国庫補助金を活用した用地取得・後退用地の舗装工事等を進めることができた。取得対象申請数に対する用地取得割合は36.2%であり、例年を少し上回ることができた。																																										
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 取得基準に基づき用地の取得と舗装工事等の整備を進める。また、自己管理地については、土地所有者に適切な管理を引き続き指導する。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地	ない																																							
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																										

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用